

<住民登録>

2月28日現在

人口 78,856

{男37,920
女40,936}

世帯数 19,018

おおだて

編集と発行一大館市役所
発行年月日一昭和44年4月1日
発行日一毎月1日
定価1部4円

昭和43年3月1日第3種郵便物認可

新年度の予算がきまる

新年度の市政方針などを決める3月定例市議会は、3月12日から3月22日までの11日間にわたって開かれました。

この市議会には、認定2件、44年度一般会計予算案など50件の議案が提出されましたが、議案のうち「市税条例の一部を改正する条例案（国保関係）」など3件を、閉会中の継続審査にしたほかは、いずれも原案どおり承認および可決されました。また、閉会中の継続審査に付されていた42年度各会計決算22件も認定されました。

さて、新しい44年度を迎え、市民の福祉向上をめざす市政の方針はどんな内容のものであるかを、市民の皆さんにお伝えします。

苦しい市の財政事情下にありながらも、今年は2丁目大火の復興を重点的に、老人福祉センターおよび、市では全国初の身障者センターの建設など、社会福祉の向上に画期的な取り組みをしています。一般会計20億円のことしの事業については2面に掲載していますので、ご熟読くださいますよう、お願いします。



石川市長のあいさつ

昨年10月12日、当市にとって市制施行後4度目の大火の発生となり、罹災者に対しては全く申し訳なく深くお詫び申し上げますとともに、市内外の多数の方々にご迷惑を掛け、多くの方たちから種々お見舞の金品等やご激励をいただきましたことは忘れ得ぬ感激であり改めて身の引きまじる思いであります。

お蔭様を持ちまして、市議会の皆様をはじめ、関係者各位のご協力のもとに、隣接地域を含めた被災地に区画整理事業を実施し、将来二度と災害の発生しない、住みよいまちづくりをいたしたく、その計画をうちたて、県ならびに、能代市、横手市より応援を得て鋭意作業を進めて参ったわけでありました。

このほど、ようやく換地関係の図面の作成や審議会委員の選任も順調に進んでおりますことを申しあげ、今後のご協力、ご鞭撻をお願い致します。

つぎに、43年度、私の重要施策の一つとして取りあげました交通災害共済事業が、このたび、秋田県一円の市町村をもつて設置しようとする「秋田県市町村交通災害共済組合」に参加したいと考え、その条例案をご審議願うことと致しております。

また、釈迦内地区より有浦地区への国道7号線のバイパス南下延長の件は、まだ決定的段階に至っておりませんが、明るい見通し、すなわち大分好転してきておりますことをご報告いたしたいと存じます。



このあいさつは、3月12日に開会された3月定例市議会で、新年度の予算説明に先だつて行なわれたものです。

(原文のまま)

つぎに、新聞、テレビ等でご承知かと思いますが、先月末、特別交付税の決定が行なわれ、県および自治省のご理解により、昨年に引き続き8市中、第1位で6,065万4,000円の配分交付を受けることになり、豊かならざる市政に大きなプラスとなりますことを喜びたいと思います。

つぎに、鉱業開発に伴う地盤沈下の問題でありますこれを大別すれば

- ①水防対策と河川堤防のカサ上げ
- ②農業対策としての稲作対策に

④中畦畔使用⑤用排水路整備⑥成育管理指導⑦頭首工の移設などがありますし、住居対策としての基礎調査の必要性を痛感いたして、その調査を始めておるところであります。

また、農業補償についても、地的および農作業超過費補償施設資材、減収補償の算定に指導助言等の方法により、前向きな姿勢を示すべく努力を傾けておる次第であります。

また、市政に大きな影響をもたらす、皆様の関心深い同和鉱業花岡鉱業所に貸付しております市有地の件については、現に同和鉱業所が使用中の土地、約100町歩は実測も終わり、目下、この結果について話し合いを進めておりますので、いましばらくの時間をかしていただきたいと思ひます。